

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 対象学年 小学校第6学年、支援学校小学部第6学年の全児童＜大阪府（公立）実施数 1,009校 74,920人＞
 中学校第3学年、支援学校中学部第3学年の全生徒＜大阪府（公立）実施数 467校 70,535人＞

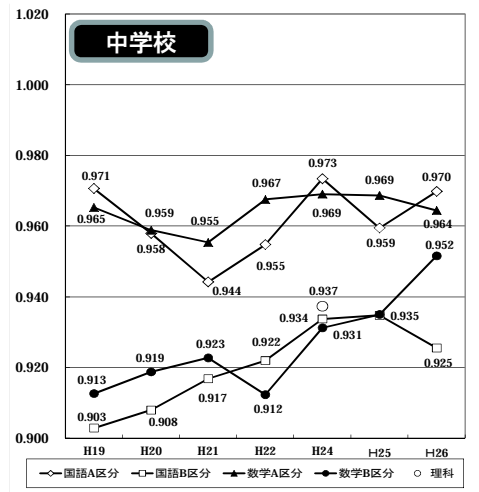
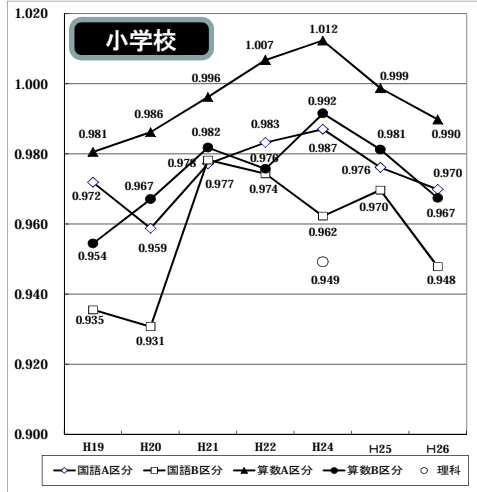
(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）
 - ・主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）
 - ② 質問紙調査（児童・生徒に対する調査、学校に対する調査）
- (4) 実施日 平成26年4月22日（火）

H22、H24は抽出調査であったため、都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることに留意する必要がある。

校種・教科・区分別 正答率比較／対全国比経年比較

	区分	H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26		
		大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差
小国	A区分	79.4	81.7	-2.3	62.7	65.4	-2.7	68.3	69.9	-1.6	81.9	83.3	-1.4	80.5	81.6	-1.1	61.2	62.7	-1.5	70.7	72.9	-2.2
	B区分	58.0	62.0	-4.0	47.0	50.5	-3.5	49.4	50.5	-1.1	75.8	77.8	-2.0	53.5	55.6	-2.1	47.9	49.4	-1.5	52.6	55.5	-2.9
小算	A区分	80.5	82.1	-1.6	71.2	72.2	-1.0	78.4	78.7	-0.3	74.7	74.2	0.5	74.2	73.3	0.9	77.1	77.2	-0.1	77.3	78.1	-0.8
	B区分	60.7	63.6	-2.9	49.9	51.6	-1.7	53.8	54.8	-1.0	48.1	49.3	-1.2	58.4	58.9	-0.5	57.3	58.4	-1.1	56.3	58.2	-1.9
小理	A区分	79.2	81.6	-2.4	70.5	73.6	-3.1	72.7	77.0	-4.3	71.7	75.1	-3.4	73.1	75.1	-2.0	73.3	76.4	-3.1	77.0	79.4	-2.4
	B区分	65.0	72.0	-7.0	55.2	60.8	-5.6	68.3	74.5	-6.2	60.2	65.3	-5.1	59.1	63.3	-4.2	63.0	67.4	-4.4	47.2	51.0	-3.8
中数	A区分	69.4	71.9	-2.5	60.5	63.1	-2.6	59.9	62.7	-2.8	62.5	64.6	-2.1	60.2	62.1	-1.9	61.7	63.7	-2.0	65.0	67.4	-2.4
	B区分	55.3	60.6	-5.3	45.2	49.2	-4.0	52.5	56.9	-4.4	39.5	43.3	-3.8	45.9	49.3	-3.4	38.8	41.5	-2.7	56.9	59.8	-2.9
中理																						



(1) 学力調査結果の概要

小学校については、平成25年度と比較して、全ての教科・区分において、全国との差が拡大した。
 中学校については、全国との差は依然として大きい、国語A区分・数学B区分に改善が見られた。

○ 平均正答率の全国平均との差

小学校：最小－0.8ポイント 最大－2.9ポイント（平均－2.0ポイント）
 中学校：最小－2.4ポイント 最大－3.8ポイント（平均－2.9ポイント）

○ 無解答率の全国平均との差

小学校：ほぼ全国平均に近づいた状況であるが、国語B区分に課題が見られる。
 中学校：改善が見られるものの全国平均との差は依然として大きい。

(2) 学習状況調査結果の概要

○ 小中学校とも、授業研究が増加

授業研究を伴う校内研修は定着し、実施回数は増加している。
 目標や方策を共有し、学校全体で「よく取り組んでいる」と回答した学校は、昨年度と比較して小中学校とも減少しており、更なる取組みが必要。

○ 授業における子どもの主体的な学習活動が増加

小中学校とも、話し合い活動や、本やインターネットを使った調べ活動を行ったと回答した子どもが増加。
 また、授業内容が分かると回答した子どもの割合は、全国水準を維持。

○ 家庭における学習に課題

授業以外の学習時間が30分未満の子どもについては、大きな改善が見られず、依然として全国との差は大きい。更なる取組みが必要。

○ 反復練習などの取組みに課題

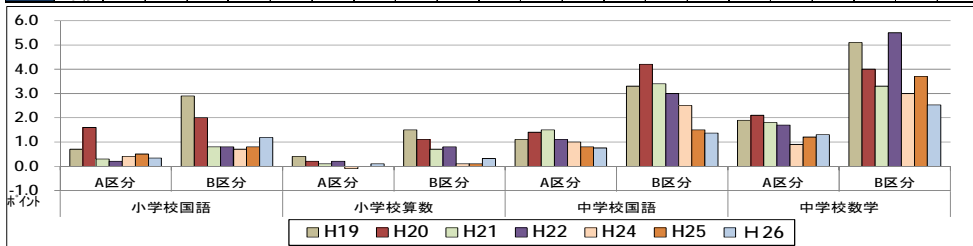
授業において反復練習の取組みに変化はみられず、基礎的・基本的な事項の定着を図るため、更なる取組みが必要。

○ 中学校における学習規律に課題

中学校での落ち着いた学習環境については、依然として全国との差は大きい。小中学校とも、引き続き学習規律の維持・徹底に取り組むことが必要。

校種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較

	区分	H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26		
		大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差
小国	A区分	2.7	2.0	0.7	12.5	10.9	1.6	10.2	9.9	0.3	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.6	2.3	0.3
	B区分	11.6	8.7	2.9	14.3	12.3	2.0	12.9	12.1	0.8	5.0	4.2	0.8	7.3	6.6	0.7	14.4	13.6	0.8	10.4	9.2	1.2
小算	A区分	1.5	1.1	0.4	3.2	3.0	0.2	2.2	2.1	0.1	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1
	B区分	7.4	5.9	1.5	7.1	6.0	1.1	6.9	6.2	0.7	7.0	6.2	0.8	4.7	4.6	0.1	6.4	6.3	0.1	4.6	4.3	0.3
中数	A区分	4.6	3.5	1.1	5.2	3.8	1.4	4.8	3.3	1.5	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8
	B区分	8.5	5.2	3.3	12.9	8.7	4.2	9.0	5.6	3.4	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4
中理	A区分	6.0	4.1	1.9	8.7	6.6	2.1	6.9	5.1	1.8	8.0	6.3	1.7	9.6	2.7	6.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3
	B区分	19.5	14.4	5.1	17.4	13.4	4.0	13.0	9.7	3.3	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5



小学校

中学校

[学]..学校質問紙調査 [児]..児童質問紙調査

[学]..学校質問紙調査 [生]..生徒質問紙調査

